



春日部市にお住まいのI氏邸

子供の頃から音楽が好きだったというI氏が、本格的にオーディオに目覚めたのは今から15年程前の高校生のとき。その頃は、雑誌に書かれた評論で音を聴き、コンポーネントの写真でオーディオに触れ、想像の中で音楽を鳴らしていたという。

その後、初めて「オーディオ」と呼ばれるものを手にしたのは大学生の頃。

始めに選ばれたアンプは ACCUPHASEのプリメインアンプ。

それから13年、買い換えながらもずっとACCUPHASEのアンプを使い続けていると言うI氏。

他のブランドに変えてみようという気持ちはなかったかという問いに、

「考えたことはあるけれど、結局聴きに行くこともなく、このメーカーを毎回選んだ。好きなんですよねぇ。」と答えられた。

長くオーディオに触れられて、買い替えということも経験されている中で、一度も浮気をせずにひとつブランドを支持し続けることに、何ともいえない「強さ」を感じた。

それは、I氏が確固たる「音」を持っているという「強さ」と、ACCUPHASEというブランドの信念の「強さ」。

おそらく、両者が補らえて離さないだろう。

ACCUPHASEの音とはどんな音ですかと尋ねると「無色透明」と答えられた。

そのアンプでドライブすることになったのは、写真のLINN ARTIKULAT350。

選んだ理由は、求めている音に近かったということ、そして造形の美しさ。

「オーディオは人生を豊かにしてくれるかけがえのないもの」と話すI氏にとって、重要なのは「音」だけに留まらない。

「姿かたち」や「質感」も大切な要素。

オーディオを、聴き、見て触れて、感じて、全ての五感を使って楽しむI氏が、システム導入後「周りの空気まで変わった」ともらした言葉が忘れられない。

「ACCUPHASE」と「LINN」

旧友との久しぶりの再会。

「言葉」が「音」を伴って発せられた瞬間、

肩を組み、手を取って、笑い合う。

交わす言葉はまるで昨日のおしゃべりの続き。

傍らで私は驚き、

「そんなに仲良かったのなら、言ってくれればよかったのに」とぼやくと、

彼らは顔を見合わせ、ほんのり笑う。

昨日は今日を、今日は明日を作ると、当たり前前のご心がよぎる。



その後、サウンドクリエイトでは、ACCUPHASEの新製品のプリアンプ「C-2810」を導入します。

I様のお宅で、ACCUPHASEのアンプで鳴らすLINNを聴いたスタッフの一言が始まりでした。(右写真→)

若いスタッフの多い当店は、海外ブランドに目がいってしまうことが多く、これは新しい出会いであり発見でした。

知っていたはずなのに、知らなかったこと。

「ACCUPHASE」と「LINN」、国籍や手法は違えども見つめる先にあるものはとても近くにあるような感じがしてなりません。

彼らの発する「音」はスッと溶け合い、「音楽」を紡ぎはじめます。



私たちサウンドクリエイトは、お客様と共に感じたことを次の世代に伝える架け橋となれるよう志しています。



SOUND CREATE www.soundcreate.co.jp

〒101-0021

東京都千代田区外神田3-10-3 プライム秋葉原ビル(旧藤和外神田ビル) フリーダイヤル/0120-62-8166
 営業時間/PM 12:00 ~ PM 8:00 (土日・祝日/PM 12:00 ~ PM 7:00) 定休日/火曜日(祝日を除く)

お取り扱いブランド

<ビュアオーディオ>LINN/PIEGA/TRIGON/OCTAVE/ANTHONY GALLO/ATC/McIntosh/YG ACOUSTICS /ORTOFON/REGA/MARANTZ/DENON

<ホームシアター>LINN/ANTHONY GALLO/AMX/FUJITSU GENERAL/STEWART/KIKUCHI/SHARP/LUTRON

<アクセサリ>Sound Mechanics/FAST AUDIO/FREA

<家具・インテリア>QUADRASPIRE/TABULARASA/FLOS

